

EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究便り —

令和2年9月25日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第1号



研究主題

外国語を通して、すすんでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

第1回 研究授業報告 ～9月15日(火)～

第5学年 外国語科「What do you want to study?」 授業者：黒川 晃文
講師：玉川大学教職大学院 名誉教授 佐藤 久美子先生

【本時のねらい】

「夢に近づく時間割」を作って、学びたい教科やなりたい職業について紹介する。

【授業のポイント】

学びたい教科やなりたい職業等について伝え合う活動を通して、「自分のことをすすんで表現することができる児童」「相手のことを理解しようとする児童」の育成を目指しました。英語を「書く」活動にも徐々になれるため、英語と日本語を線で結ぶ活動も取り入れました。英語に親しみ、楽しんで自然なやりとりができるようにしていきます。

【授業の様子】



【児童の様子】

- ・友達とのやり取りの際に相手の声が聞こえなかったとき、「One more time, please.」と言って聞き返す姿が見られた。
- ・英語で書かれた教科名（“math”等）と日本語（“算数”など）を線でつなぐマッチングゲームでは、頭文字や単語の数を意識して線でつなぐことができた。

【講師の佐藤先生より】

授業の流れやテンポがよく、児童が集中を保ちながら意欲的に取り組んでいた。単語のなぞり書き、書き写し、と段階を踏んで書く活動を取り入れていた。“I want”と相手が言ったら“You want”と反応を返すなど、デモンストレーションの中で会話がスムーズにできるような言葉を入れることで、児童同士がすすんで会話したくなるような工夫がされていた。授業の振り返りは、ワークシートに記入するだけでなく、発表して学級全体で共有すると理解が確かになる。デジタル教科書の活用や、担任とALTとのデモンストレーションの内容を工夫することが、本時のねらいを達成することにつながった。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。



EGOTAN